

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	エコポイント等CO2削減のための環境行動促進事業		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部署	環境省		担当課室	総合環境政策局環境経済課		環境経済課長 石飛 博之
会計区分	エネルギー対策特別会計エネルギー需給勘定		上位政策	地球温暖化対策の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	低炭素社会を実現するためには、1990年比で+34.2% (2008年度確定値) と増加している家庭部門の温室効果ガス排出削減が必要不可欠である。そこで国民の環境行動を促進するため、環境に配慮した行動の多寡に応じて、当該行動を行った者に経済的なインセンティブとなるポイントを付与する取組 (エコ・アクション・ポイントモデル事業) を推進し、経済的に自立した民間主導によるエコポイントのビジネスモデル確立を目指す。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成21年度エコ・アクション・ポイントモデル事業においては、全国型3件、地域型6件のモデル事業を公募により採択した。全国型モデル事業では、会員の入会手順の簡便化、他モデル事業者との連携・ポイント交換、既存ポイント事業者とのポイント交換等を実施した。また、地域型モデル事業では、他のモデル事業者との連携により実施エリアを拡大する等、地域レベルでモデル事業の推進するとともに、小中学校の省エネ活動のような新たな事業モデルの立ち上げを行った。広報業務においては、より多くの事業者や消費者へエコ・アクション・ポイントモデル事業の普及啓発を目的として、シンポジウムの開催や、公式ホームページの運営による情報発信等の広報業務を実施した。支援・検証業務においては、「対象商品の考え方」の改訂や「エコポイント成功事例集」を作成した。					
実施状況	平成21年度モデル事業においては、全国型事業3件、地域型事業6件を公募により採択し、平成21年度末時点でのモデル事業全体の進捗状況としては、会員数約66万人、参加企業数636社、発行ポイント数1億3,200万ポイントとなっている。広報業務では、平成22年2月に赤坂サカスにおいて、エコ・アクション・ポイントモデル事業の普及啓発イベントを2日間開催した。また、平成22年3月には「エコ・アクション・ポイントシンポジウム」を開催し、これまでのモデル事業の成果発表を行った。支援・検証業務では、外部の有識者を交えた検討会を2回開催し、「対象商品の考え方」を改訂。また、エコ・アクション・ポイントの今後の自立に向けて有用な情報を得ることを目的に、国内の様々なポイントビジネスを調査し、「エコポイント成功事例集」の作成を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0	350	360	340	0
	執行額	0	350	359		
	執行率	0	100%	99%		
	総事業費(執行ベース)	0	350	359		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	モデル事業の選定にあたっては、外部の有識者を含めた企画提案書審査会により委託先を選定。また、モデル事業の実施にあたっては、四半期毎に進捗報告会議を開催し、それ以外にも適宜モデル事業者と環境省担当官との打合せを実施し、事業の進捗状況や内容は適切に把握できている。広報業務及び支援・検証業務については、担当官と共に業務を進めることが多いため、事業実施現場の状況は適切に把握できている。また、いずれの業務においても、委託費精算時に支出先・用途を確認しており、その内容は適切に把握できている。				
	見直しの余地	地域型モデル事業については、地域型事業のモデルを概ね把握することができたので、平成21年度限りで支援を終了し、平成22年度においては全国型モデル事業の自立に向けた支援をすることとした。なお、エコ・アクション・ポイントは平成22年度を以てモデル事業を終了し、民間主導による自立したビジネスモデルとして事業を進めていく予定。				
化予 算監 視の 所効 見率						
補記						

環境省
359百万円

【公募・委託】

A. 民間会社、NPO法人、一般社団法人
(全9事業者)
335百万円

・エコ・アクション・ポイントモデル事業の実施

【総合評価入札・委託】

B. 株式会社TBSビジョン
21百万円

・モデル事業の広報業務
・エコ・アクション・ポイントモデル事業
公式サイト管理運営業務(下半期)

【総合評価入札・委

C. 株式会社日本スマートエナ
ジー
3百万円

・「対象商品の考え方」改訂業務
・「エコポイント成功事例集」の作成
・H22年度モデル事業公募の補助業

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A. 株式会社ジェーシービー			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務従事者	89			
外部委託費	ポイント管理システム構築(大日本印刷株式会社)	37			
広告宣伝費	イベントやテレビへの広告出稿	37			
外部委託費	ホームページ管理運営(彼方株式会社)	15			
外部委託費	オフィシャルブログ管理運営(トランス・コスモス株式会社)	8			
旅費	打合せ、出張等	2			
計		188	計		0
B. 株式会社TBSビジョン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	ホームページ管理運営、イベント出展に係る業務従事者	12			
旅費	モデル事業者との打合せ、取材	2			
借料及び損料	イベント出展に係る費用	7			
計		21	計		0
C. 株式会社日本スマートエナジー			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査及び検討会開催に係る事業従事者	3			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0